2025 年 7 月 24 日

2024 年度「線区活用に関する検討会」の取り組みについて

2019 年度より、ご利用状況が大きく減少した線区を対象に、県や沿線自治体、九州運輸局と当社による協働の取り組みとして「線区活用に関する検討会」を開催しております。

この検討会では、鉄道の持続可能性を高めていくことを目的に、沿線自治体の皆さまと当社が一緒になって、線区の現状を相互理解し、線区活用策に取り組んでおります。

今後も本検討会の取り組みなどを通じて、地域の皆さまと持続可能な交通ネットワークの提供に努めてまいりますので、より一層ご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

○ 2024 年度の開催線区およびこれまでの開催実績

【開催線区】

◇筑肥線（唐津-伊万里）　◇吉都線（都城-吉松）

◇指宿枕崎線（指宿-枕崎）　◇日南線（油津-志布志）

【上記4線区のこれまでの検討会開催実績】

・2019 年度：2回、2020 年度：3回、2021 年度：4回、2022 年度：3回
2023 年度：3回、2024 年度：3回、2025 年度：1回（2025.7.24 時点）
通算19回開催

【各線区における取り組み内容】

◇別紙参照 （4 線区合計の参加者：19,690 人、JR 利用者：10,410 人）

○ 今後の開催線区

◇筑肥線（唐津-伊万里）　◇吉都線（都城-吉松）

◇日南線（油津-志布志）

指宿枕崎線（指宿-枕崎）及び肥薩線（八代-人吉）につきましては、「線区活用に関する検討会」を閉会いたします。

2025 年 7 月 24 日
筑肥線活用に関する検討会

「筑肥線(唐津～伊万里)活用に関する検討会」における 2024 年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

筑肥線(唐津～伊万里)を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段とすることを目的として、2024 年度は「筑肥線活用に関する検討会」を計3回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や、活用策に関する意見交換などを行いました。

各主体において様々な線区活用策を実施したところ、多くの方々にご参加いただきました。
(検討会参加者:唐津市、伊万里市、佐賀県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社)

2. 主な線区活用策

ロマンシング佐賀の取り組み

佐賀県と人気ゲーム「サガ」シリーズを展開する株式会社スクウェア・エニックスがコラボした「ロマンシング佐賀」は、昨年10周年を迎えました。筑肥線においては、ロマ佐賀列車を活用したクイズラリーを行い、クイズの正解者にはオリジナルエコバッグ等のノベルティをプレゼントすることで、筑肥線の利用促進と周辺観光地への周遊促進を図りました。

ノベルティ配布数:1,709 名※
※筑肥線と唐津線の合計

© SQUARE ENIX

マイレール意識の醸成

筑肥線沿線の小学校へ駅壁画の制作を依頼するなど、地域のみなさまと連携して駅の賑わいを創出するとともに、鉄道を大切に思う沿線の気持ちを発信しました。また、伊万里市内の小中学生を対象に、鉄道に関する絵画コンクールを実施し、沿線の子どもたちのマイレール意識の醸成を図りました。

応募総数:180 点※
※筑肥線と松浦鉄道の合計

公共交通機関の利用促進

自治体の広報誌やホームページ、公式 LINE を活用して、公共交通機関の利用促進を図りました。

全体

この他にも高校へ進学する中学生への通学定期券利用を呼び掛ける取り組み等、全8件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約 3,390 名、そのうち約 1,730 名の方に JR の列車をご利用いただきました。

2025 年 7 月 24 日
吉都線活用に関する検討会

「吉都線活用に関する検討会」における 2024 年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

吉都線を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段とすることを目的として、2024 年度は「吉都線活用に関する検討会」を計 3 回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や意見交換などを行いました。また、ご利用状況を改善するため、JR 吉都線利用促進協議会や沿線自治体等においても様々な線区活用策が実施され、多くの方々にご利用いただきました。

（検討会参加者：都城市、高原町、小林市、えびの市、湧水町、宮崎県、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社）

2. 主な線区活用策 （JR 吉都線利用促進協議会及び沿線自治体等による取り組み）

イベント実施による利用促進

吉都線沿線で以下のイベントを開催し、吉都線及び地域の魅力を発信しました。

・親子で行く！JR 九州宮崎支社お仕事体験ツアー
・フォトジェニックツアー
・吉都線ウォーク in 東高崎駅
・JR 利用者：計 436 名

吉都線ウォーク in 東高崎駅の様子

国鉄色・首都圏色車両を活用したツアー

国鉄色・首都圏色を再現したキハ 40 形車両を使用し、宮崎駅から吉都線経由で鹿児島中央駅まで向かうツアーを実施しました。
走行する区間の駅や沿線にはこの列車を見ようと、多くの鉄道ファンが訪れました。

・JR 利用者：約31名※
※駅や沿線にお越しいただいた方は含んでおりません。

えびの駅の様子

官民連携で取り組む通勤定期購入支援

吉都線を積極的にご利用いただける企業をJR吉都線応援企業として認定し、JR 吉都線応援企業に勤める方が吉都線の通勤定期を購入する費用の一部を補助する事業を行いました。

吉都線団体利用への支援

吉都線沿線の団体が吉都線を利用される際に運賃の補助を行い、小中学校をはじめ多くの団体がご利用されました。

・JR 利用者：979名（33団体）

全体

この他にも「沿線サポーター助成事業」など、全5件の線区活用策を実施し、全体の参加者及び JR の列車をご利用頂いた方は約 1,450 名となりました。

2025 年 7 月 24 日
指宿枕崎線活用に関する検討会

「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」における 2024 年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

指宿枕崎線(指宿～枕崎)を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段とすることを目的として、2024 年度は「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」を計3回開催しました。検討会では、線区のご利用実態に関する情報共有や、ご利用状況を改善するための線区活用策の検討および実施に向けた協議などに取り組み、それらを踏まえ各主体にて活用策を実施した結果、多くの方々にご利用いただきました。

(検討会参加者:指宿市、南九州市、枕崎市、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社)

2. 主な線区活用策

いぶすきバルの開催

指宿駅前を中心に指宿地域全域でバルを2回開催し、まちなか活性化や交流人口の拡大に取組みました。JR 利用者には特典を付与することで、鉄道利用促進にも貢献しています。

・バル参加者 1,110 名
(うち、JR 利用者 63 名)

指宿枕崎線シンポジウムの開催

指宿枕崎線の積極的活用をテーマにした指宿枕崎線シンポジウムを開催しました。霧島神宮駅における「九州 Dream Station」の取組みや沿線高校等での取組みについてご講演いただき、指宿枕崎線の積極的利用についてのトークセッションも開催しました。

・参加者 120 名
(うち、JR 利用者 18 名)

指宿枕崎線活性化プロジェクト「かごしま景観大賞」記念看板設置

地元自治会を中心に企業や団体が連携し、松ヶ浦駅周辺の景観を維持していることから、「かごしま景観大賞」を受賞しました。受賞を記念して松ヶ浦駅に記念看板を設置し、除幕式が行われました。

記念看板と松ヶ浦小学校の子どもたち

伐採・清掃作業を通したマイレール意識醸成

自治体や沿線の自治会、JR 九州等が一緒になって駅周辺の清掃や伐採作業を行うことで、マイレール意識の醸成に取組みました。

・参加者 62 名

松ヶ浦駅にて伐採作業参加者一同

全体

この他にも山川駅、西頴娃駅の活用を促進する取組みや小学生向けの職場体験イベントなど全 11 件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約 2,300 名(うち JR 利用者 約 830 名)でした。

2025 月 7 月 24 日
日南線活用に関する検討会

「日南線活用に関する検討会」における 2024 年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

日南線を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段とすることを目的として、2024 年度は「日南線活用に関する検討会」を計3回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や意見交換などを行いました。また、ご利用状況を改善するため、JR 日南線利用促進連絡協議会や沿線自治体等においても様々な線区活用策が実施され、多くの方々にご利用いただきました。

（検討会参加者：宮崎市、日南市、串間市、志布志市、宮崎県、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社）

2. 主な線区活用策 （JR 日南線利用促進連絡協議会及び沿線自治体等による取り組み）

つながるマルシェ

志布志駅での「ぽっぽマルシェ」及び串間駅での「よかむんマルシェ」を同日開催し、日南線を使って各会場へ訪問された方に特典を付与し、利用促進を図りました。

・参加者：1,700 名（うち、JR 利用者約 50 名）

「ぽっぽマルシェ」の様子

「よかむんマルシェ」の様子

特急「海幸山幸」15 周年

日南線を走行する D&S 列車「海幸山幸」が運行開始から 15 周年を迎えたのに合わせ、出発式を行いました。

出発式の様子

「日南駅」姉妹駅締結 1周年記念イベント

日南市の「日南駅」と台湾の台中市にある「日南（リーナン）駅」との姉妹駅締結1周年を記念したセレモニーを開催しました。セレモニー後はワークショップも開催し、国際交流を深めました。

・参加者：約 80 名
（うち、JR 利用者 40 名）

ワークショップの様子

志布志駅開業100周年記念事業

JR 志布志駅が令和7年3月30日に開業100周年を迎えたことを祝して、記念式典を開催しました。志布志高校書道部によるパフォーマンスやナッシートレインを運行し、多くの方々にご参加いただきました。

・参加者：約 1,500 名
（うち、JR 利用者
約200名）

記念式典の様子

全体

この他にも「JR 乗り方教室」や「観光列車『海幸山幸』貸切運行に対する補助」、「各種イベントにおける利用促進」など全22件の線区活用策を実施し、イベント等を含めた全体の参加者等は約 12,550 名、うち JR 利用者は約 6,400 名でした。